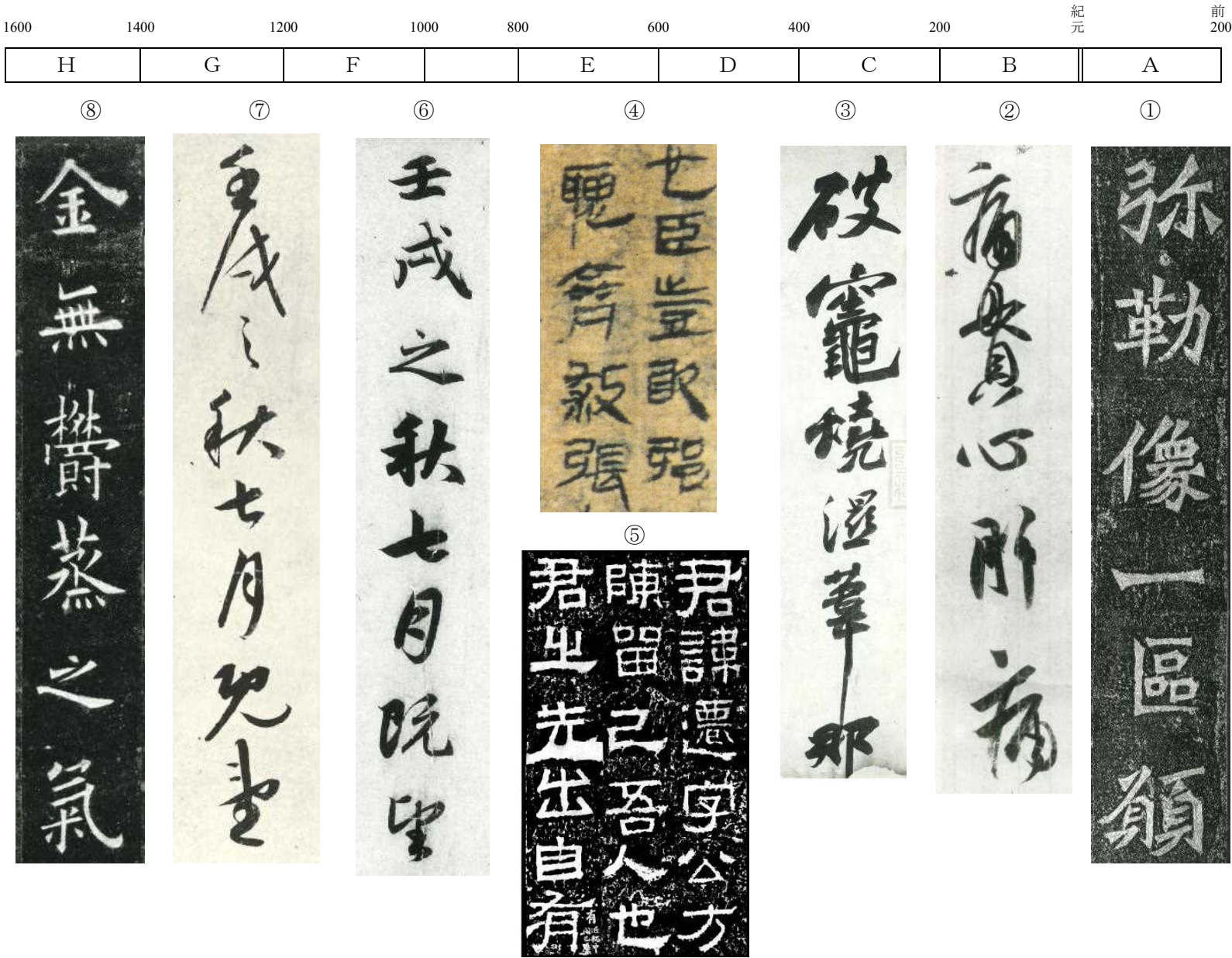
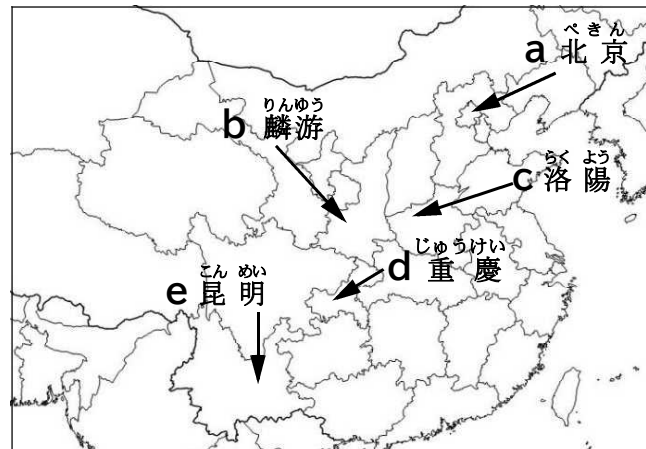


例一 次の年表や図版をもとに、(1)～(10)の問いに答えなさい。

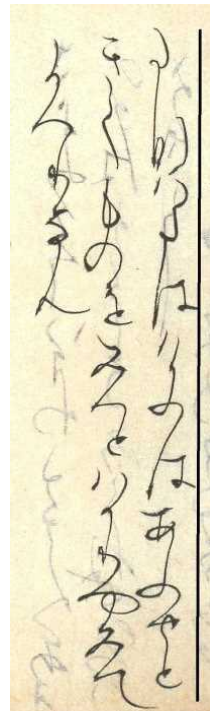


- (1) 図版①②⑤の古典名と、③⑦⑧の筆者（書者）名をそれぞれ漢字で書きなさい。
- (2) 図版①のように、点画を角ばらせて書くことを何というか、漢字で答えなさい。
- (3) 図版②の作品は「搨摹本」である。どのようなものか、わかりやすく説明しなさい。

- (4) 図版③の作品後部には、黄山谷がこの作品を絶賛する文章が記されている。書籍や書画などの前や後ろに書かれる識語のことを何というか、漢字二字で答えなさい。
- (5) 図版④は、一九七三年に出土した馬王堆帛書の一部である。「帛書」とは何か、わかりやすく説明しなさい。
- (6) 図版⑤と酷似する、一九七三年に河北省武清県で出土した碑を何というか、漢字で答えなさい。
- (7) 図版⑥・⑦は、どちらも図版③の筆者の漢詩を書いたものである。その漢詩名を漢字で答えなさい。
- (8) 図版①・⑧の現存する場所を地図のa～eから選び、それぞれ記号で答えなさい。



- (9) 図版③④⑤は、年表A～Hのどの年代の作か、それぞれ記号で答えなさい。
- (10) 次の図版は中務集である。図版下の文中のA～オに適する語句を答えなさい。ただしイは年表A～H、エはあとの語群i～ivから最も適当なものを選び、記号で答えなさい。



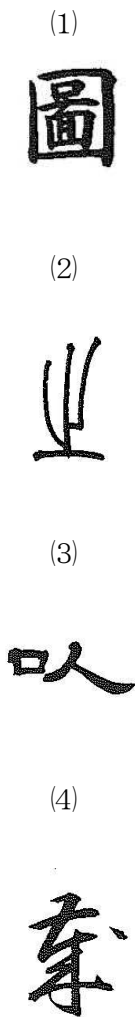
筆者は、伝（ア）とされているが、確証はない。年表のA～Hの（イ）の年代に書かれた。図版の傍線部をすべてひらがなで書くと（ウ）となる。装丁は、紙が薄いため上下に孔を開け、その孔に糸を通して綴じた（エ）になっている。東京の（オ）美術館に所蔵されている。

- | | | | | | |
|-----|------|---|-----|----|-----|
| | 「語群」 | i | 大和綴 | ii | 折帖 |
| iii | 粘葉装 | | | iv | 剪装本 |

（令和三年度）

例二

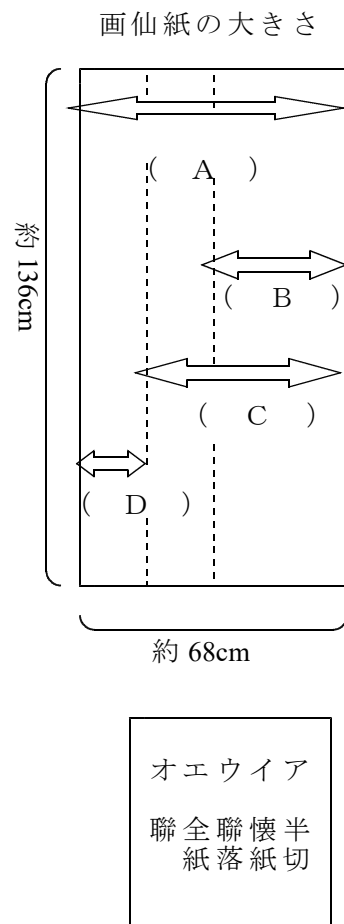
次の(1)～(4)の漢字を、常用漢字の楷書で書きなさい。



(令和三年度)

例三

次の紙の規格について、空欄A～Dに入る語を下のA～オからそれぞれ選び、記号で答えなさい。



(令和二年度)

例四

高等学校学習指導要領「芸術」の「第10 書道I」について、次の1・2の問いに答えなさい。

1 次の文は「1 目標」の一部である。文中の(1)～(9)にあてはまる語句を書きなさい。

- (1) 書の表現の方法や形式、(1)～(9)などについて幅広く理解するとともに、
 (2) 能力の向上を図り、書の(3)～(9)に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
 (2) 書のよさや美しさを(4)～(9)し、(5)～(9)に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や(6)～(9)を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
 (3) (7)～(9)に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、(8)～(9)を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や(9)～(9)を創造していく態度を養う。

2 次の「2 内容 B鑑賞 (1)鑑賞」のイである。文中の空欄にあてはまる語句を書きなさい。

- イ 次の(ア)から(エ)までについて理解すること。
 (ア) 線質、字形、構成等の要素と表現効果や()との関わり
 (イ) 日本及び中国等の文字と書の伝統と文化
 (ウ) 漢字の書体の変遷、仮名の成立等
 (エ) 書の伝統的な鑑賞の方法や形態

(令和二年度)

例五 次の文章を読んで、(1)～(5)の問いに答えなさい。(設問の都合上、表記を改めた箇所がある。)

(本文省略)

(1) 波線部ア～ウの漢字には読みがなを書き、カタカナは漢字に直して書きなさい。
(2) 二重波線部 a～c の品詞名を漢字で答えなさい。
(3) 空欄

| |
|---|
| X |
|---|

・

| |
|---|
| Y |
|---|

 にそれぞれあてはまる最も適切な言葉を次のア～オから選び、記号で答えなさい。

ア 協力 イ 境界 ウ 媒介 エ 基本 オ 結合

(4) 傍線部 A は、何を表しているか。言い換えている部分を本文中から二十字以上三十字以内で抜き出して答えなさい。
(5) 傍線部 B とあるが、それはどういう状況のことを言っているのか。二十字以上三十字以内で答えなさい。

(令和元年度)

例六 次の文章を読んで、(1)～(5)の問いに答えなさい。(設問の都合上、表記を改めた箇所がある。)

北山の辺に ^Aよしある所のありしを、はかなくなりし人の領ずる所にて、花の盛り、秋の野辺など見には、常に通ひしかば、^B誰も見し折もありしを、ある聖の物になりてと聞きしを、ゆかりあることありしかば、^Cせめてのことに、忍びて渡りて見れば、面影は先立ちて、またかき暗さるるさまぞ、言ふ方なき。磨きつくろはれし庭も、浅茅が原、蓬が柚になりて、葎も苔も茂りつつ、ありしけしきにもあらぬに、植ゑし小萩は茂りあひて、北南の庭に乱れ伏したり。藤袴うちかをり、ひとむらすすきも、まことに虫の音繁き野辺と見えしに、車寄せて下りし妻戸のもとにて、ただひとり ^Dながむるに、さまざま思ひ出づることなど、言ふもなかなかなり。例のものも覚えぬやうにかき乱る心の内ながら、

^E露消えしあとは野原となりはててありしにも似ず荒れはてにけり

跡をだに形見に見むと思ひしをさてしものとどかなしさぞ添ふ
東の庭に、柳桜の同じ丈なるを交ぜて、あまた植ゑ並べたりしを、ひととせの春、もろともに見しことも、ただ今の心地するに、梢ばかりは、さながらあるも、心憂く悲しくて、

植ゑて見し人はかれぬるあとになほ残る梢を見るも露けし
わが身もし春まであらば尋ね見む花もその世のこと(一) 忘れそ

(『建礼門院右京大夫集』より。)
(注)「はかなくなりし人」＝この人と作者とは恋愛関係にあった。

(1) 傍線部 A・D の意味をそれぞれ答えなさい。
(2) 傍線部 B を、その相手を補って現代語訳しなさい。
(3) 傍線部 C とはどのような様子か。その理由も明らかにして五十字以上六十字以内で説明しなさい。
(4) 傍線部 E について、次の a・b に答えなさい。
a ここで用いられている和歌の技巧を説明しなさい。
b 「ありし」を簡潔に言い表している箇所を九字で抜き出しなさい。
(5) (一) にあてはまる副詞を答えなさい。

(令和元年度)

| 例四 | | | | 例三 | 例二 | 例一 | | | | | | | | | | 問題番号 | | | | | | | | | |
|----|-----|----|-----|----|-----|------|---------------------|----|-----|-----|------|-----------------|-----------------|------------------|--------|-------------|-----|---|-----|---------|-----|-------|-----|-----|--|
| 2 | 1 | | | A | (1) | (10) | | | (9) | (8) | (6) | (5) | (4) | (3) | (2) | (1) | | | | | | | | | |
| 風趣 | ⑦ | ④ | ① | エ | 図 | エ | ウ | ア | ③ | ① | 鮮于璜碑 | 帛（しろぎぬ）に墨書したもの。 | 題 ----- 跋 | 双鉤填墨によって模写されたもの。 | 方筆（方勢） | （書者） 筆者名 | 古典名 | | | | | | | | |
| | 主体的 | 感受 | 多様性 | | | i | たなは（ば） たはけふはあふせと | 西行 | F | c | | | | | | ③ | ⑤ | ① | | | | | | | |
| | ⑧ | ⑤ | ② | | | B | | | (2) | オ | | | | | | ④ | A | ⑧ | (7) | 蘇軾（蘇東坡） | 張遷碑 | 牛橛造像記 | | | |
| | 感性 | 意図 | 書写 | ア | 之 | 出光 | | イ | F | ⑤ | b | | 赤壁賦（前後赤壁賦） | | | ⑦ | | | | | | | 祝允明 | 喪乱帖 | |
| | | | | C | (3) | | | F | | ⑤ | | | | | | B | ② | | | | | | | | |
| | ⑨ | ⑥ | ③ | ウ | 以 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 社会 | 価値 | 伝統 | D | (4) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 才 | 歳 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 正答例 | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 例六 | | | | | | 例五 | | | | | 問題 番号 | |
|-----|------------------------------|---|---|---------------|----------------|-------|------------------------------------|--------------------------------------|-----|-----|----------|-------------|
| (5) | (4) | | (3) | (2) | (1) | | (5) | (4) | (3) | (2) | (1) | 正 答 例 |
| な | b | a | 亡くなった恋人と過ごした思い出の場所を訪ねたので、 恋人の面影が目の前に浮かび、涙で目の前が見えなくな ってしまった様子。 | その聖とは縁故があったので | D | A | 子どもたちが勝手に育つような場が地域社会に少なく なった状況。 | ざし 子どもたちが少しだけ距離を置いて見守るようなまな ざし | X | a | ア | |
| | 磨きつくろはれし庭 「消え」は「露」の縁語である。 | | | | 物思いに沈んでぼんやりと見る | 風情のある | | | ウ | 副詞 | 干涉 | |
| | | | | | | | | | Y | b | イ | |
| | | | | | | | | | オ | 助動詞 | ほんろう | |
| | | | | | | | | | | c | ウ | 行儀 |
| | | | | | | | | | | 名詞 | | |